

にぎわい創出拠点の市民ワークショップ(第4回)

〔最終回検討テーマ〕 **施設を育てる**—施設開業後の市民協働の可能性について

実施結果

2025年10月4日(土)開催
14:00～16:10(赤石楽舎)
参加者数:19名/見学3名

資料 1



市民や活動団体・企業等が関われる活動内容

機能	施設開業後に市民や市民活動団体・企業等が関われることが考えられる活動内容
拠点全体	<ul style="list-style-type: none">□市民や団体のかかわりを継続させていくためのサポート(定着させるには時間がかかる)□施設の活用や運営に対して、市民が気軽に意見を言うことができる場や機会(市民ワークショップや意見交流会の開催(オンラインも含む)、意見箱の設置)□市民のサポーターやボランティアなどによる関わりづくり□施設の情報発信<ul style="list-style-type: none">・動画作成、学生記者による発信、音声ガイド、見て楽しいPOP制作スタッフ・YouTube、TikTok等、SNS発信スタッフ 等□障害のある人も参加しやすい、参画できる仕組み(バリアフリーも)□わくわくする人(ボランティア)を受付に□(不用品等の)ゆずりますコーナー(ボードの設置)の管理・運営 など
図書館・情報	<ul style="list-style-type: none">□図書館のボランティア活動(運営スタッフ等)、読み聞かせボランティア、古文書等の整理ボランティア、蔵書のメンテナンス等への参加□テーマ別、年代別の図書館運営協議会への参加 □市民の蔵書の期間限定での展示□移動図書館との連携による遠方の人や情報のマッチング□「図書館だより」などのタイムリーな情報発信への協力□市民参加型のイベント(読み聞かせや紙芝居など)、市民が自由に持ち寄り・持って帰ることができる本コーナー□市民や学生もかかわりやすくするための市民限定の福利厚生□テーマ毎の会合の組織化・会合への参加 □本の紹介・アドバイザー(流行の本、古典)□新刊おススメ本などを楽しいPOPにする □図書館で子どもを預かる機能や仕組み□図書館に来なくても、パソコンやスマホで本を読める機能 など
織物文化・銘仙	<ul style="list-style-type: none">□文化伝承のインストラクター・織物文化並びに関連する文化・技術(編み物等)のインストラクター、銘仙試着コーナーのアドバイザー・インストラクター、ガイドの育成・組織化□織物だけでなく広く伊勢崎の歴史についての語り部□銘仙を普段着として着る文化醸成、レンタル銘仙、銘仙着せ替え電子パネル□成人式や誕生日、七五三などの記念日に銘仙を着て写真撮影する文化の定着□銘仙の歴史や織物の見学などを通して高齢者から若者・学生に伝える など□興味・関心のない人へのアピール 等
創業・チャレンジ インキュベーション	<ul style="list-style-type: none">□共通価値創造型の起業・創業、NPO活動等への支援(支援制度の創設、運営スタッフとして参加等) □創業希望者へのオンライン相談アドバイザー□創業支援アドバイザー(起業した人の紹介、座談会、学生とのマッチング等)□運営にかかる資金的支援への関わり(クラウドファンディングや協賛店の売上の〇%の寄付、銘仙募金など)□起業のノウハウ発表会や交流会、プレゼン大会、起業のデータベース化、就活生向けのイベントや交流会 □くわまるのデザイン無料化□高校生も参加できるチャレンジショップ・お試し実証実験の場づくり・市内飲食店等のメニュー試食会への出店 □新しい銘仙づくりを起業につなげる□(仮称)社会課題解決活動センターの運営スタッフとしての参加□各企業の特徴をアピールできる場の創設(企業としての参加)□市内の子ども食堂と農家さんの連携の仕組み作り、フードバンクの情報拠点 など
広 場	<ul style="list-style-type: none">□キッチンカー・Pop-up shopの出店・管理への参加□広場でのイベント(年間スケジュール)の企画・運営としての参加、市民イベント(市民が伊勢崎の魅力を伝えるイベント)の開催と資金的支援□キャンプファイヤーやダンスなどの楽しいイベントの企画・実施□子どもに昔遊びなどを教えながら一緒に遊ぶプレイリーダー□テーマごとのまちなか探検会の開催、アーティストや芸人を呼ぶ など

市民ワークショップ(第4回)の総括

ポイント① 各機能の担当部局間の連携を強めて魅力的な施設づくりに期待!!

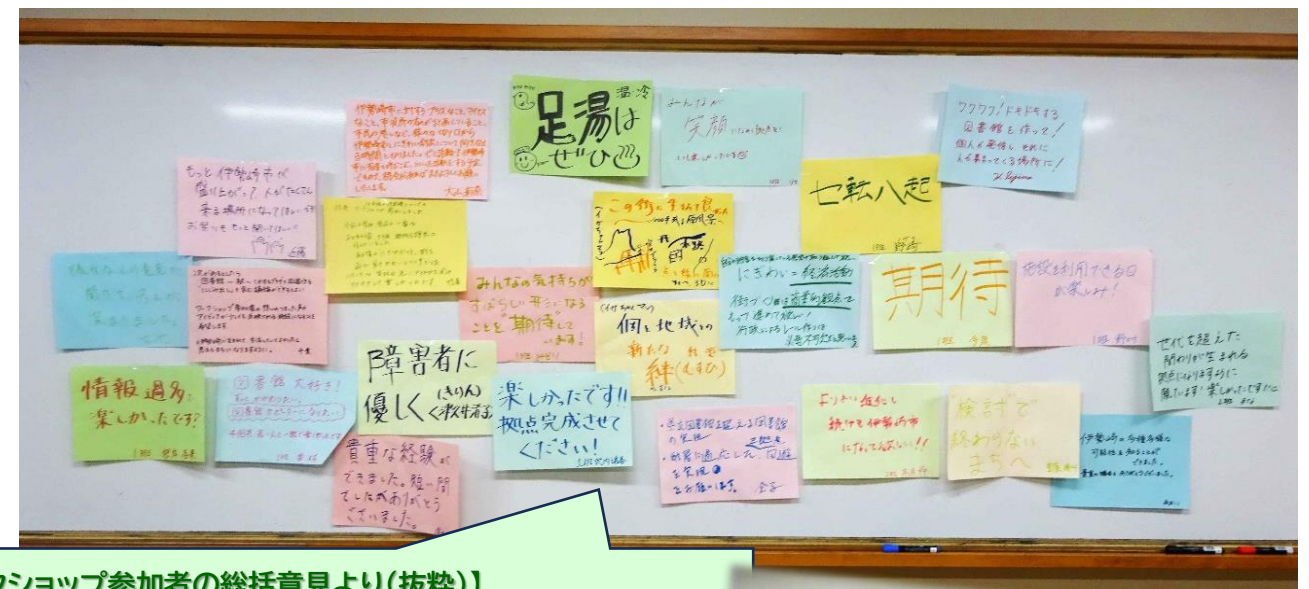
複合機能を構成する施設について、市役所内では教育委員会(図書館)、文化財、商工、中心市街地、都市計画、企画等、様々な部署で実現に向けて検討されていると思われる。**各部署の垣根を下げ、部署間の連携を強めて、利用者目線での施設づくりに期待したい。**

ポイント② 各機能が“掛け算の思考”により生じる魅力的な活動・サービスの展開に期待!!

図書館、伝承機能、インキュベーション機能のそれぞれにおいて魅力的な活動・サービスが実現することはもちろんのこと、**各機能が掛け合わさることで生じる活動・サービスにも期待したい。**例えば、図書館にインキュベーションや起業・創業・経営・組織論等に関する書籍・情報や、織物・地元企業に関する書籍、情報コーナーの設置、インキュベーションで生まれたソーシャルビジネスの試験的な場の創出等が想定される。

ポイント③ 市民の声(期待)が継続して届く仕組みづくりに期待!!

4回のワークショップを通じて、利用者の視線で様々なアイデアが提案された。これらの意見に傾聴され、アイデアの一つ一つの実現に尽力いただきたい。また、実現までの様々な機会に、**市民の声(期待)が届くような仕組み**を継続的に設けられたい。なにより大切なことは、**構想で終わらず、実現・実行することである。**



【ワークショップ参加者の総括意見より(抜粋)】

- このまちに生まれてよかった、と思える施設にしていきたい。
- 幼少の頃は本当ににぎわっていた。にぎわい拠点が実現して、またにぎわう風景を見たい。
- 地域の経済発展につながるきっかけとなる拠点となることを願っている。
- ワークショップでの意見・声が消えないようにしてほしい。
- 施設が完成した際には、このメンバーで再会し、施設の運営支援に関わりたいと思う。
- アイデアの一つでも実現することを願っている。

>>>市民の声が届く仕組みを継続してつくってほしい<<<

